

好きなように生きてらいい——。彼の言葉は私の心を震わせる。
泣きキュンしちゃう、野いちご単行本 11月25日全国書店にて発売開始

小説投稿サイト「野いちご」「ベリーズカフェ」「ノバマ!」を運営するスタート出版株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：菊地修一）は、野いちご単行本2点を、2020年11月25日（水）より全国書店にて発売開始いたします。

■単行本新刊情報 <https://www.no-ichigo.jp/bookstore/book/202011>



『君がひとりで泣いた夜を、僕は全部抱きしめる。』

ユニモン / 著、イラスト:雨森ほわ

定価 1,200円+税、ISBN 978-4-8137-9061-7

【あらすじ】 幼い頃に父を失い、家族を支えながら過ごしている高2の真菜。あるとき、友達とのトラブルがきっかけで過呼吸になったところを、同じクラスの桜人に助けられる。冷たく近寄りた存在だった桜人に「自分を偽ってまで、友達と一緒にいる必要ないだろ」と言われ最初は戸惑うが、何度も彼に救われるようになってから、真菜の世界は変わり始めた。桜人と同じ文芸部に入ると、彼の美しい文章を読んでますます彼を知りたくなっていく。しかし、桜人が真菜を助けたいと思う気持ちには、ある悲しい過去が関係していた——。「真菜の泣いてる顔は、もう見たくないんだ」隠された切ない想いに、涙が止まらない！

『一生に一度の「好き」を、全部きみに。』

miNato(みなと) / 著、イラスト:ピスタ

定価 1,200円+税、ISBN 978-4-8137-9062-4

【あらすじ】 余命5年と宣告された高1の葵は、家を飛び出してきた夜の街で、同い年の咲と出会う。その場限りの関係だからと、気軽に余命のことを打ち明けた葵。ところが、学校で彼と運命的な再会をして…。友達づくりもうまくいかない葵に、咲は「葵らしく今のままでいいよ」と言ってくれた。ぶっきらぼうに見えて優しい彼に葵は惹かれるが、余命は刻一刻と近づく。恋心にフタをしようとするけれど、「どうしようもなく葵が好きだ」「俺にだけは弱さを見せろよ」とまっすぐに想いを伝える咲に心を揺さぶられ——。

